

子どもの未来応援団報告書

表題：学習支援「ラ♡ファミリーユ子ども教室」

子どもが運営する食堂「ら♡ふぁみーゆ」

学校・団体名：つなぐ♡HUB

活動グループ名：学習支援「ラ♡ファミリーユ子ども教室」

子どもが運営する食堂「ら♡ふぁみーゆ」

担当者・教諭名：神村 絵理香

活動人数：33人

(1) 活動を始めた理由

少子高齢化、科学技術の発展、グローバル化等、子ども達を取り巻く環境変化が著しい現代において生き方や働き方のビジョンは多様化しており、自ら学び、考えて生き抜く力がより強く求められるようになった。一方で、これらの力を育むための社会的な学びの場や働くことの意味を見出す機会が十分に与えられているとは言い難く、子ども達が適切な将来像を抱きにくい現状となっている。実際に当団体で関わってきた子ども達からも「将来なりたい職業が見つからない」との声も聞かれる。また、人間関係の希薄化、活動の自粛、子どもの孤立、貧困層の増加などによる教育機会の減少や格差など社会的な課題も加速している。

そこで当団体では「自己理解」「他者理解」「社会や働くことへの意識」をテーマに、不登校児や貧困層等を含めた子どもたちが、お互いを認め合いながら社会で生きていくための総合力を主体的に身に付けていくことを目的とした活動を始めた。

(2) 活動内容・活動の写真(カラー)

1 学習支援「ラ♡ファミリーユ子ども教室」

様々な講師を招いて、子ども達が社会で生きていくために必要な総合力を養う講座を行った。

8月3日：簿記・会計を学ぼう！



11月9日：毛利家十七代目が語る歴史よもやま話



11月24日：自分の体を知って、整えるヨガ



2月22日：知られざる税の世界をのぞいてみよう！



2 子どもが運営する食堂「ら♡ふぁみーゆ」

講座で得た学びを実践する場として、中高生が中心となり、店舗運営の手法を考え、食材の仕入れ、メニュー考案、調理、接客、資金管理などの一連の社会体験を行った。

第1回：5月5日（ナシゴレン+ソトアヤム、スロドック+ガンボスープ）

第2回：9月1日（ビビンバ+冷麺）

第3回：3月16日（ローストビーフサンド、カオマンガイ）



(3) 活動結果

1、多方面の分野の専門家から学ぶことで、知識の構築や、将来への視野の幅が広がる機会につながった。簿記の講座「難しいけど、原価計算がら♡ふぁみーゆでも役に立ちそう」と子どもが運営する食堂で売り上げをあげていく事や、原価計算をどう考えるのかなど実践に向けた学びとなった。毛利家の歴史講座「歴史を身近に感じることができた。命をつなぐことの大切さに気づいた」と歴史から命の大切さを学んだ。ヨガ講座「体の仕組みを学びながら意識して体を動かし楽しかった」と学んだ事を伝えたいと相手を想う大切さを学んだ。税金講座「身近にあるが何も知らないことを実感した」と気づく事ができた。これからキャリアを構築していく上で、必要なことを学ぶ機会となった。難しい内容でも真剣に話を聞く姿や、学んだことを誰かに教えてあげたいという姿があった。

2、子どもが運営する食堂の活動では、ミーティングの場を通じ他者の意見を受け入れ、チームとしてどう課題を解決していくかを話し合いながら、チームワークを構築していく実践の場となる。食堂を運営することで、学ぶ力、思考力、想像力等これから社会で生きていくために必要な力を身につけることができる。運営する上で前回に出た課題をどう解決するか意見を自分自身の言葉でしっかり伝える姿や、子どもたちが声を掛け合い連携して行う姿があった。活動を通して、周りの方に支えられ、応援して下さる方がいることを感じる事ができた。